

# 未来予測 2011/2021 【目次】

1. 本書における未来予測の捉え方と読み方			2. 2011/2021 主要な変化(基礎条件・基本潮流)		
		頁			頁
1)	未来予測の予測期間	1	1)	基礎条件	7
2)	確度と重要度	1		世界の先進国平均年齢が41.7歳に上昇 年齢構成の国別格差	7
3)	変化の影響度と網羅的な把握	3		CO <sub>2</sub> 排出抑制と石油消費抑制	7
4)	未来予測の構成	3		膨張するマネー 不安定な経済とリスクヘッジ	8
5)	3つの変化のタイプとクライシス	4		地球限界と資源争奪	8
6)	2011/2021世界経済に影響を及ぼす4+2の力	5		食料問題	9
				都市への集中 都市インフラの革新と都市間競争	9
				技術革新 情報とエネルギー	10
			2)	基本潮流	11
			(1)	世界の基本潮流	11
				アメリカ、EU、中国、アジアの4極が同等の経済規模に	11
				グローバル化はさらに進行し、世界は共通化に向かう	11
				ドル基軸の通貨体制は脆弱になる	11
				22億人の先進国型消費人口が新たに加わる	11
				先進国の好景気は世界の富裕層増大が本格化する10年代後半に	11
				中国が世界経済の台風の目	12
				世界人口の高齢化に伴い、健康関連需要が大きく伸びる	12
				都市への人口集中が続き、都市インフラ需要、都市生活用品需要が急拡大する	12

# 未来予測 2011/2021 【目次】

	2. 2011/2021 主要な変化(基礎条件・基本潮流)	頁
	CO <sub>2</sub> 排出抑制政策は強化され、原子力が停滞することからエネルギーコストは上昇する	12
	限りなくコストゼロに近い情報インフラが世界中に広がり、言語が情報圏を形成する	13
	情報インフラの形成進行はさらに新しいビッグビジネスを生み出す	13
	急成長巨大国際企業が出現する	13
	幸福度をGDP以外の指標で測る考え方が広がる	13
	先進国の次の発展段階	13
(2)	日本の基本潮流	14
	少子高齢化が進行し、ロングライフ型社会構造に変わっていく	14
	高齢化・人口減による市場の縮小・拡大	14
	税・社会保障負担の増加と限界 国家方針の選択	14
	硬直したままの財政政策 何もできない日本	15
	新しい消費性向をもった世代の台頭	15
	国内製造業の縮小から再生へ	15
	サービス業の国際化の進展	16
	技術マネジメントの必要性から製造業企業の再構成が進む	16
	従来型農漁業の限界と変貌	16
	地方の限界と再生	16

	2. 2011/2021 主要な変化(基礎条件・基本潮流)	頁
	東日本大震災が今後の日本に及ぼす影響	17
(3)	クライシス	19
	中国バブルの崩壊	19
	ドル危機	19
	EUの崩壊	19
	日本の国債危機	20
	食料危機	20
	新興国の都市バブル崩壊	20
	国家経済破綻	20
	新型感染症の発生	21
	情報システムダウン	21